

ワンパーセント
イオン1%クラブ

vol.7
2024 Autumn



5月に自分たちで苗を植えた稲を手記念撮影（イオンチアーズクラブ羽生）

イオンチアーズクラブ活動レポート
イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン
アジアユースリーダーズ2024

イオン チアーズクラブとは小中学生を対象とし、環境や社会貢献に興味・関心を持ち考える力を育む場として、全国420店舗を拠点にさまざまな体験学習を行っています。

北海道



1粒の種から1万数千個以上のトマトを実らせた「とまとの森」を見学



羊毛を使ったオリジナル作品づくり



北海道には総勢70名が集まりました

関東



みんなで力を合わせて網を引きます



海苔をすく作業にもトライ



関東には総勢60名が集まりました



入賞クラブによる壁新聞の発表



活動
レポート

1

壁新聞審査会入賞クラブが
全国大会で環境問題について学び、
他エリアのメンバーと交流

2024年8月1日(木)〜3日(土)の3日間、関東と北海道の2会場で、イオンチアーズクラブ全国大会を開催しました。2024年2〜4月の間にを行った壁新聞審査会入賞クラブ(全国30クラブ、130名)のメンバーが全国から参加しました。

大会初日、各クラブの参加メンバーは、自分たちで作った壁新聞を発表し合うとともに、他エリアのメンバーからの質問に答えることで新たな気づきを得る機会になりました。最初こそ緊張した面持ちでしたが、次第に活発な意見交換や議論が生まれ、他エリアの環境問題についても興味や関心を持って話し合い、メンバー同士の交流を深めていきました。

北海道大会では、羊毛クラフト体験、農業学習施設の見学などを行いました。関東大会では、地引網や海苔づくり、夏野菜の収穫作業などを体験しました。メンバーは、真夏の太陽のもと、笑顔いっぱいで開催地ならではのイベントを楽しみました。

壁新聞審査会とは？

イオンチアーズクラブでは、年度末に1年間の活動成果を振り返り、壁新聞にまとめて発表する「壁新聞審査会」を行っています。全国で開催する予選会のあと、13エリアに分かれて最終審査会を行い、入賞クラブは全国大会に参加します。



クラブ間で交流する様子も見られました



クラリネットを吹く練習中

活動
レポート

3

クラシック音楽や楽器に触れ、感性を育む

うまく
吹けました!



難しいヴァイオリンの演奏にも挑戦。音を出すのもひと苦労です

- 2024年7月26日(金) 札幌コンサートホールkitara(北海道札幌市)
- 2024年7月30日(火) サントリーホール(東京都港区)

公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会のご協力のもと、北海道(7月26日)と、東京(7月30日)の2会場にて、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌のアカデミー生との交流やオーケストラ・リハーサルの見学や実施しました。北海道会場ではヴァイオリンやトランペットなどの楽器演奏を体験。初めての楽器に触れ、子どもはみな目を輝かせていました。



お仕事体験としてオペラグラスの貸し出しを行いました

- 2024年8月25日(日) まつもと市民芸術館(長野県松本市)

次代を担う若者の育成に注力する団体を支援しています。

【パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)】

故 レナード・バーンスタインが創設した、若手音楽家による音楽祭です。

当財団はPMFやOMFへの支援を通じて若手音楽家や世界中の優れた音楽家に活躍の場を提供しています。

【セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)】

小澤征爾のもとに世界中から優れた音楽家が集まる、日本最大の音楽祭です。



立派に咲いたヒマワリを手にし、子どもたちも思わず笑顔に

活動
レポート

2

「宮城大学チアーズ農園」でミニトマト収穫と色とりどりのフラワーボックスづくりを体験

宮城大学チアーズ農園(宮城県仙台市)でイオンチアーズクラブ「仙台卸町」「仙台幸町」のメンバー16名が、ミニトマトの収穫や、畑の緑肥(緑色植物を田畑に混ぜ込み肥料にすること)のために育てられたヒマワリ畑を散策し、ヒマワリを使ってのフラワーボックスづくりを体験しました。

今年度すでに3回目の活動となり、宮城大学の学生にメンバーたちはすっかり打ち解けて、楽しみながら活動できました。



鈴なりのミニトマトを一つひとつ収穫する子どもたち



大学生と一緒にフラワーボックスづくり

ミニトマトの収穫体験では、「トマトの実に傷をつけないように、1個ずつハサミを使って慎重に収穫していきました」、「試食したミニトマトは甘くて、ジューシーで、とってもおいしかったです」などの感想が聞かれました。

フラワーボックスには、ヒマワリをはじめ色とりどりの花を箱いっぱいに散りばめ、家族への感謝の気持ちを込めて書いたメッセージカードを添えて、作品を作りました。

今回の活動では、10月下旬に、5月に定植したサツマイモや、7月に種まきしたニンジンも収穫する予定です。

宮城大学チアーズ農園とは?

2024年5月19日、公立大学法人宮城大学のご協力のもと、坪沼農場(宮城県仙台市)内に開園しました。2023年に開園した「牛久チアーズ農場」(茨城県)に続く2カ所目のイオンチアーズクラブ専用の農園です。



ヒマワリを中心に色鮮やかな花を置いていきます



きれいにお花を詰められたよ





お買い物体験では、栄養バランスを考えながら商品を選びました

活動
レポート
5

管理栄養士による 食育講座で学ぶ“食の循環”

何が入ってるかな？



2024年6月9日(日)、イオンタウ
ン名西(愛知県名古屋西)を会場に、
イオンチアーズクラブ「名西」のメン
バー14名が参加して、開始式と第1回
の活動を行いました。

開始式の後、第1回の活動として食
育講座と、店舗でのお買い物体験を行
いました。

食育講座では、炭水化物、たんぱく質、
ビタミン・ミネラルの3色のバランス
が取れた食事の大切さを学びました。
お買い物体験では、4チームに分かれ、
愛知県産の野菜やカレーに入れる野菜
をおトクにお買い物するミッションに
チャレンジしました。

最後の「箱の中身あてゲーム」では、
お買い物体験で購入した野菜を箱に入
れ、手で触った特徴から何の野菜かを
当てることに挑戦しました。



記念すべき第1回の活動に、子どもたちもワクワクしている様子でした

イオンチアーズクラブ 「名西」の 活動テーマとは？

イオンチアーズクラブ「名西」
では、2024年度の活動テーマを
「食の循環を学ぶ」と定め、年間
を通してお買い物体験、農業体
験、販売体験、調理体験、食育体
験、工場見学などのイベントを実
施予定です。

活動
レポート
4

地域の皆さまと 2,100本の苗を植樹



イオンリテール株式会社の井出社長も子どもたちと一緒に植樹に参加しました



一生懸命
がんばります！

1991年から、イオンでは新店舗
がオープンする際に、敷地内に苗木を
植える活動を行っています。

2024年6月29日(土)、北陸エリア
で初の都市型ショッピングセンター
「そよら福井開発」(福井県福井市)の
オープンに先駆けて実施された植樹祭
に、イオンチアーズクラブ「加賀の里」、
「松任」、「新小松」、「小松」の各メン
バー、計25名が参加しました。

植樹祭には、近隣の幼稚園や小学生
のお子さまと、その保護者の方々の、約
200名も参加されました。

メンバーは、開会式で参加者の皆様
に、パネルを使用して植樹方法の説明
を行いました。植樹では率先して行動
して、地域の皆さまと一緒に36種類
2,100本もの苗を植えました。



子どもたちが植樹のやり方をパネルで説明



しっかり土を掘り起こして植えていきます



駐車場の周りを苗木で囲いました



大きく立派に
育ってね！

イオンの植樹活動とは？

1991年よりイオンでは、新店舗がオープンする際、敷地
内にお客さまとともに木を植える「イオンふるさとの森
づくり」を行っています。店舗が地域に根ざし、地域の
コミュニティの場となること、さらには緑を育む心が世
界に広がるように、との願いを込めた活動です。



貯水池から機械でくみ上げられた水は浄水場へ流れ、浄水処理されたうえで、水道管を通じて各家庭に送られます。



水道がない多くの家庭では、水瓶にためた雨水を生活用水として炊事などに使用しています。



きれいで安全な水に喜ぶ子どもたち



イオンワンパーセントクラブの森理事長もカンボジアに行き、現地事情を視察しました

イオンユニセフ Safe Water Campaign

セーフウォーターキャンペーン

子どもたちに安全な水を！
4,715万円を贈呈

イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン（2024年4月8日～5月12日）では、全国のイオングループの店舗や事業所6,791カ所で募金を実施し、みなさまから2,357万9,372円の募金をお寄せいただきました。

2024年7月22日（月）、カンボジアの首都プノンペンのイオンモールセンソックシティにおいて、募金の贈呈式を行いました。式典は、在カンボジア日本国大使館特命全権大使 植野篤志さま、ユニセフカンボジア事務所代表 ウィル パークスさま、カンボジア政府関係者の皆さまにご出席いただきました。

寄付金贈呈式では、募金と当財団からの拠出金を合わせた4,715万8,744円を当財団理事長 森美樹より公益財団法人日本ユニセフ協会へ贈呈しました。



右からユニセフカンボジア事務所代表 ウィル パークス様とイオンワンパーセントクラブ理事長

イオンユニセフ セーフウォーターキャンペーンとは？

カンボジアなどの一部地域では、池や河川の不衛生な水や、人体に悪影響を及ぼす恐れのある物質を含んだ地下水が生活用水として使われています。また、子どもたちが遠隔地への水汲みのために時間を取られ、学校の授業に出席できない状況もあります。「イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン」は、安全な水を供給するため公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、全国から寄せられた募金と当財団からの拠出金を寄付しています。



手作りのパネルを使ったプレゼンテーション

プログラム前半では、産官学を代表する講師から講義を受け、プログラム後半では成果発表会で発表するグループごとのプレゼンテーションに向けた準備を行いました。最終日には、外部審査員や各国駐日大使館の方々にご出席いただき、成果発表会と表彰式を行いました。成果発表会では、プログラムで学んだことをもとにプレゼンテーションを実施し、審査員との質疑応答にも堂々と対応しました。約1週間、寝食を共にして築いた信頼関係が発表の場にも表れ、参加者同士の絆が感じられました。真剣な取り組みのなかになじみや達成感がうかがえる成果発表会となりました。



各国の参加者80名と審査員、駐日大使館の方々



1位となったチームには表彰状と記念品が贈られました

参加者からは「異なる国籍や文化を持つ仲間たちとの出会いが、自身の視野を広げ、リーダーシップのあり方について深く考える貴重な機会となった」、「議論を通じて得た新たな視点や、課題解決に向けたチームワークの重要性を改めて認識できたので、今後の学びに生かしていきたい」などの感想が寄せられました。



さまざまな国の学生が浴衣姿で盆踊りをし、日本の文化に触れました

「将来のリーダーに必要な資質」

2024年度のテーマは

アジアユースリーダーズ

国境を越え、多様な価値観を学ぶ

8月20日(火)〜23日(金)の間、8カ国(インドネシア、カンボジア、タイ、ラオス、中国、日本、ベトナム、マレーシア)の高校生が東京に集って、2024年度「アジアユースリーダーズ」を開催しました。グローバル化や技術革新が進んでいくなか、多様な解決すべき社会課題に立ち向かうリーダーとして必要な資質についてディスカッションしました。



在日カンボジア大使 トゥイ・リー閣下とカンボジアの学生たち



ディスカッションは英語で交わされます

アジアユースリーダーズとは？

アジア各国の高校生が、社会問題をテーマとして視察や専門家によるレクチャーに基づき、英語を共通言語として議論を重ね、解決策を提案するプログラムです。自分とは違う考え方や意見に対する理解を深め、視野を広げる場を提供し、次の世代を担うリーダーの育成を目的とします。

財団概要

笑顔あふれる未来をつくる。

イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、グループ各社の参画のもと、1990年に設立されました。

以来30年以上にわたり、お客さまにイオングループをご利用いただき、生まれた利益の1%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」「災害復興支援」を主な活動領域として、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

ご寄付のお願い

次代を担う子どもたちのために、皆さまのご支援をお願いいたします。

イオンワンパーセントクラブでは、子どもたちの教育や国際交流、地域文化の保全などの活動に取り組んでいます。なお、当財団は、内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けておりますので、当財団への寄付金については、所得税（個人）、法人税（法人）の控除が受けられます。

ご寄付の方法

クレジットカード
決済

WAON POINT
利用

銀行振込

右記のコードを読み取り、
寄付受付画面にお進みいただき、ご寄付の方法をお選びください。

<https://aeon1p.or.jp/1p/about/donation/>



編集後記

表紙は、第6号にてお届けした「イオン チアーズクラブ 羽生の田植え体験」で植えた苗の、稲刈り収穫体験の様子です。安全な鎌の使い方のレクチャーを受けた後、大人とペアになって黄金色に輝く稲穂を根元近くから丁寧に刈り取りました。自分たちで植えたからこそ、より一層のよろこびであったことと思います。活動の様子はHPやInstagramでご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。今後とも「イオン1%クラブ」をよろしく申し上げます。

(橋本)



公益財団法人

ワンパーセント

イオン1%クラブ

[発行元] 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1

Tel 043-212-6023 Mail 1p@aeon.info

右記のコードを読み取ると
当財団の活動詳細をご覧いただけます。

<https://aeon1p.or.jp/1p/>

